

「改善提案シート」記載内容 中間とりまとめ

第2回ワークショップで参加者が記載した「改善提案シート」の内容を次のとおり分類した。

1 「現状の課題」分類まとめ

意見区分	件数
子どものスポーツの支え方	13
子どもの送迎が大変	4
子どもたちの体力が低下している	3
希望するすべての子どもがスポーツできるための環境づくりが不十分（費用面など）	3
子どもの時に色々なスポーツを経験できるための仕組みのさらなる強化が必要	3
「する」「応援する」への関心	7
オリンピック選手への関心を持続するためには工夫が必要	4
スポーツイベントの情報が足りない、参加者が少ない	2
スポーツに関わろうとする子どもが少ない	1
スポーツ関連施設の活用法	4
スポーツ施設の活用方法の改善が必要	4
その他	2

2 参加者からの改善提案概要

(1) 子どものスポーツの支え方

課 題		子どもの送迎が大変
改善提案	個人の見組	<ul style="list-style-type: none"> ・自力で行けるよう自転車や公共交通機関を把握する。 ・送迎の乗合をしていく。 ・できるだけ仕事等を調整して送迎（個人の問題なので難しい）。
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・大会や試合だけではなく、子どもの住居付近まで運送する回送バスのようなものを導入する。 ・指導者側が同意書等を記入したうえで送迎する。
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・送り迎え禁止とするルールを作る。 ・学校としてではなく町として同乗する際のルールを設ける（同意書等を交わすなど）。 ・送迎バスが使用できるように補助金などを出す。 ・送迎バスの費用を集める1つの手段として、募金を呼びかける。 ・スクールバスなどを活用する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とは別に、学校や自宅の近くでの公園等で練習できるようにする。

課 題		子どもたちの体力が低下している
改善提案	個人の見組	<ul style="list-style-type: none"> ・少年団、部活動以外での活動の場への理解を持つ。 ・放課後、休み時間等にもっと体を動かす。 ・スポーツの時間を作る。
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動できる方の見守りを行う。 ・地域全体で協力体制をとる。
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・町のスポーツ施設への送迎バスの検討。 ・イベントを増やす。 ・ノーゲームデー、ノーテレビデーの逆の発想で、例えばポイント制で何かの町民割を受けられるなどのことを検討する。

課 題		希望するすべての子どもがスポーツできるための環境づくりが不十分（費用面など）
改善提案	個人の見組	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したい意思をしっかりと伝える。 ・行政に頼らない自治意識を持つ。 ・我が子だけでなく、スポーツを頑張っている子どもたちを応援する。
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したい子どもの願いを地域として叶える方策を考え

		る。 ・金銭的な支援を募る。
	行政の取組	・支えあうサポート体制の確立、コーディネートを行う。 ・金銭的な支援を募る。 ・新規スポーツクラブの許可、複数のクラブと協定を結ぶ。 ・子どもファンド（子どもがプレゼンして活動費）の創設。
	その他	・参加したい子が誰でも参加できる環境づくりを町の特性にしていける。

課 題		子どもの時に色々なスポーツを経験できるための仕組みのさらなる強化が必要
改善提案	個人の取組	・色々なスポーツを体験してみる。 ・子どもたちとスポーツをして交流する。
	地域の取組	・総合型スポーツクラブのような存在の親近感を沸かせるための催事を行う
	行政の取組	・すぐそばで様々なスポーツを見られる「総合型スポーツクラブ」の特徴を周知する。 ・SNSなどの発信によって多くのスポーツを子どもたちに体験してもらう。 ・オリンピックの参加をお願いする。

(2) 「する」「応援する」への関心

課 題		オリンピック選手への関心を持続するためには工夫が必要
改善提案	個人の取組	・つながりのある方を紹介する。 ・スポーツニュースを見るようにする。 ・仕事の中で（メディアとして）発信、企画していく。
	地域の取組	・地域として協力していく。 ・町出身の選手をみんなで応援する。 ・横断幕やポスターで周知する。 ・身内意識の醸成。
	行政の取組	・十勝出身の方だけでもオリンピック選手や有名選手などとの接点を増やす取組みをする。 ・オリンピック選手を招いたイベントを行う。 ・オリンピックのパブリックビューイングを毎回行う。 ・選手本人が来た時に何かしら子どもたちに触れるチャンスをつくる（イベントや学校訪問）。
	その他	・イベント等でオリンピックの活躍シーンを盛り上げ続ける。 ・スポーツCAFÉの開設。

課 題		スポーツイベントの情報が足りない、参加者が少ない
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間に声をかける。 ・ 町内にどのような団体（スポーツ）があるのか確認する。
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中でスポーツ好きの仲間を作る。
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ メディアを使って宣伝する。 ・ 広報で団体（スポーツ）の紹介をする。

課 題		スポーツに関わろうとする子どもが少ない
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツイベントや体験会に参加してみる。 ・ ウォーキングや散歩程度でもやってみる。
	地域の取組	
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の授業でブームになっているスポーツをイベントで取り入れる。 ・ オリンピアンや実力者等が直接指導できるようなイベントや引退したスポーツ選手が指導してくれるクラブなどで作る

(3) スポーツ関連施設の活用方法

課 題		スポーツ施設の活用方法の改善が必要
改善提案	個人の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動等のスポーツを練習するためにスポーツ施設に通って、自主練習を行う。 ・ 一度でも足を運んでみる。 ・ 利用できる施設は使うようにする（大人が自分ごととして、スポーツに参加しようと行動するのは難しい）。
	地域の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ参加のない町民への働きかけ。 ・ 部活動、クラブで施設を利用する。 ・ 家族や友人などと声を掛け合って運動する習慣をつける。 ・ 平等に使えるよう、独り占めしない。

	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 偏ったスポーツのみの使用の見直しを行う。 ・ どの施設に何のスポーツの練習場があるのか、細かく施設の広報を行う（例：体育館はバスケットコート2面分ある、武道場があるなど）。 ・ SNSをもっと活用する。 ・ 平等に利用できるよう広報などで（多くの方に）情報提供する。 ・ 独占状態の体育館やコミセンの使用方法について見直す（個人利用者の使用率を高めることが大切）。
--	-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) その他

課 題		スポーツ指導について
改善提案	個人の取組	
	地域の取組	
	行政の取組	・ 指導者の給与（報酬）を上げること考える
	その他	・ オリンピックの種目に特化する

課 題		スマイル公園の美化（国道側の清掃、環境整備）
改善提案	個人の取組	・ 道路法面の草刈りなど、伐採
	地域の取組	・ 就労センターに頼む
	行政の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道沿いなので、行政としても解決するようにする ・ 国道から歩き眺められるようにする
	その他	・ せっかくのスマイル公園をもっと見ていただけるようにしたい